

JIS

アルミニウム合金ろう及び ブレージングシート

JIS Z 3263 : 2002

(JLWA/JSA)

(2007 確認)

平成 14 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 溶接技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	宮 田 隆 司	名古屋大学大学院工学研究科
(委員)	藍 田 勲	株式会社神戸製鋼所
	入 江 広 定	独立行政法人物質・材料研究機構材料研究所
	牛 尾 誠 夫	大阪大学接合科学研究所
	岡 實	財団法人日本海事協会
	恩 澤 忠 男	東京工業大学大学院理工学研究科
	小 林 秀 雄	独立行政法人産業技術総合研究所
	酒 井 勝 之	社団法人日本アルミニウム協会
	福 永 規	住友金属工業株式会社技術部
	堀 川 浩 甫	大阪大学接合科学研究所
	山 田 桑 太 郎	社団法人日本鉄道車輛工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 36.12.1 改正：平成 14.3.20

官 報 公 示：平成 14.3.20

原 案 作 成 者：社団法人 軽金属溶接構造協会（〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 3 丁目 37-23 由良ビル
TEL 03-3863-5545）

財団法人 日本規格協会（〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573）

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 杉浦 賢）

審議専門委員会：溶接技術専門委員会（委員長 宮田 隆司）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室
[〒100-8901 東京都千代田区霞ヶ関 1 丁目 3-1 TEL 03-3501-1511（代表）] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会
の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人軽金属溶接構造協会(JLWA)/財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって **JIS Z 3263 : 1992** は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正では、心材及びブレージングシートの種類、ブレージングシートの構成、ブレージングシートの機械的性質などについて、国内の現状技術を考慮した。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

目 次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義	1
4. 種類	1
5. 品質	4
6. 寸法及びその許容差	7
6.1 ろう	7
6.2 ブレージングシート	7
7. 試験	11
8. 検査	12
9. 製品の呼び方	12
10. 表示	13
解 説	14

アルミニウム合金ろう及びブレイジングシート

Aluminium alloy brazing filler metals and brazing sheets

1. 適用範囲 この規格は、ろう付に使用するアルミニウム合金ろう(以下、ろうという。)及びブレイジングシートの種類、品質、寸法及びその許容差、試験、検査、製品の呼び方並びに表示について規定する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS H 0001 アルミニウム、マグネシウム及びそれらの合金—質別記号

JIS H 0321 非鉄金属材料の検査通則

JIS H 1305 アルミニウム及びアルミニウム合金の光電測光法による発光分光分析方法

JIS H 1306 アルミニウム及びアルミニウム合金の原子吸光分析方法

JIS H 1351 アルミニウム及びアルミニウム合金の分析方法通則

JIS H 1352 アルミニウム及びアルミニウム合金中のけい素定量方法

JIS H 1353 アルミニウム及びアルミニウム合金中の鉄定量方法

JIS H 1354 アルミニウム及びアルミニウム合金中の銅定量方法

JIS H 1355 アルミニウム及びアルミニウム合金中のマンガン定量方法

JIS H 1356 アルミニウム及びアルミニウム合金中の亜鉛定量方法

JIS H 1357 アルミニウム及びアルミニウム合金中のマグネシウム定量方法

JIS H 1358 アルミニウム及びアルミニウム合金中のクロム定量方法

JIS H 1359 アルミニウム及びアルミニウム合金中のチタン定量方法

JIS Z 2201 金属材料引張試験片

JIS Z 2241 金属材料引張試験方法

JIS Z 2611 金属材料の光電測光法による発光分光分析方法通則

JIS Z 3001 溶接用語

3. 定義 この規格で用いる主な用語の定義は、JIS Z 3001 によるほか、次による。

a) ろう 単独に使用するもの又はブレイジングシートの皮材として使用したもの。

b) 心材 ブレイジングシートを構成する主たるアルミニウム合金で、固相線温度がろうの液相線温度よりも高いもの。

c) 皮材 心材表面にクラッドしたろう。

d) 犠牲陽極材 心材表面にクラッドした、心材よりも電位の低いアルミニウム合金。

e) クラッド率 ブレイジングシートの厚さに対する皮材の厚さ(片面)の比率(%)。

4. 種類 ろう、心材及び犠牲陽極材の種類、並びにブレイジングシートの構成及び種類は、次による。